

日 時	令和5年10月31日(火) 13:00~14:50
学 校 名	真岡市立真岡中学校
対 象	2年生 170名
講 師	奥澤 健二 氏 (奥澤産業株式会社 代表取締役社長) 名村 史絵 氏 (三信電工株式会社 代表取締役) 橋本 恵美 氏 (栃木小松フォークリフト株式会社 代表取締役会長) 細井 将紀 氏 (明治安田生命保険相互会社 宇都宮支社長)
内 容	<p>職場体験の事前学習として、「働くことの楽しさや厳しさ」「社会人としてのマナー」というテーマで4名の講師が授業をした。それぞれの業種の視点から、仕事において大切なことを、中学生たちに伝えていた。</p> <p>奥澤氏は、「働く意義」について分かりやすく話した。自社の製品が人々の生活を支えていることが、自分にとっての喜び。どんな仕事も社会の役に立っているということが、働いていると分かる。それが「働く意義だ」ということだった。</p> <p>名村氏は、自身の会社の例から、一つの会社の中にも色々な仕事があり、それぞれが支え合って会社が成り立っている。そして、一緒に働きたい人はどんな人か、ということ話を話し、生徒の職場体験への意識を高めた。</p> <p>橋本氏の、夢を叶えるためには、目標はなるべく自分から離れた場所に置く。その方が叶えるための力=努力が強くなるという「ゴムひも理論」には、多くの生徒が共感している様子だった。</p> <p>細井氏はプリントを用意し、生徒達に「中学生がなりたい職業ランキング」を考えさせる事からスタートし、この仕事には、何を学ぶことが必要かについてや、全ての仕事大切だという話を、生徒と対話しながら分かりやすく話していた。</p> <p>「仕事」というものがまだ十分にイメージしきれない中学生たちに、様々な角度で仕事の意義や大切さを伝えることができた。充実した職場体験になるだろう。</p>



